

中学生のピロリ菌検査実施を

質問者 川 島 靖 弘

胃がんは、がんの中でり患数が上位のがんである。胃がんになる原因はさまざまあるといわれているが、一番の要因はピロリ菌の感染である。胃がんは若年層のり患は多くないといわれているが、ピロリ菌の除菌を早くすることで、中年以降にがんになり患する可能性を下げることができるといわれている。

中学生の尿検査にピロリ菌検査を加えることで、ピロリ菌検査の受診率を高めるべきと考えるが、町の見解を伺う。